

郵政民営化委員会（第240回）議事要旨

日 時：令和3年11月29日（月）15:30～16:19

場 所：w e b形式にて開催

出席者：山内委員長、関口委員長代理、佐藤委員、関委員

（敬称略）

日本郵政株式会社	浅井常務執行役、石川経営企画部付部長
日本郵便株式会社	上尾崎執行役員、小川執行役員
株式会社ゆうちょ銀行	矢野専務執行役、新村常務執行役、 岸執行役営業統括部長
株式会社かんぽ生命保険	宮澤執行役、宍戸執行役員経営企画部長

1. 議事

- ・ 日本郵政グループの2022年3月期第2四半期決算等について

2. 委員会での説明・意見等

- 日本郵政グループの2022年3月期第2四半期決算等について【資料240-1～5】

① 資料に基づき日本郵政グループ各社より説明

② 委員からの意見等

- ・ 日本郵便の収益体制を早期に持続的な黒字にする必要があると考えている。郵便物について、土曜日配達廃止及び送達日数の1日繰り下げについて報道があったが、影響についてどのように考えているか。

（⇒（日本郵便）法律改正を受け、土曜日配達廃止は10月から実施し、送達日数の1日繰り下げは、年明け以降順次実施予定。社会的に郵便物数はデジタル化で減少傾向が続いており、アンケート結果等でも概ね影響はないと考えている。これらにより働き方改革や伸びている分野へのリソースシフトを進めていきたい。）

- ・ J P 楽天ロジスティックスの流山の物流センターを見学したが、提携で物流の量を増やそうとしているが、思ったより機械化が進んでいないという印象を受けた。DXにもっと積極的な投資を行うべきではないか。

（⇒（日本郵便）物流分野の機械化については、現中期経営計画期間中に進めようとしている。人手不足の問題や働き方改革という観点からも効率化を進めることが重要で、郵便区分の自動化は進んできているが、物流分野の機械化も進めてまいりたい。）

- ・ 好決算は良いが、資金利益は剥がれ落ちるリスクもあるため、3事業とも本業をしっかりとらせ、サステイナブルな事業体制を作ってほしい。

－以上－

注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。